

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県西尾市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	西尾市文化遺産を活用した地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>西尾市においては、平成23年4月に西尾市・幡豆郡三町の合併により、新「西尾市」が誕生し、この合併に伴い、多くの文化、歴史資源が増えました。しかし、これら文化、歴史資源は豊富にあるものの、市民の間では旧市町の資源としてどのようなものがあるのかさきよくわからない状況となっています。また、平成25年度に「西尾市観光基本計画」においては、市内にある豊富な文化や歴史資源を活用して、市への来訪者を増加させることが位置付けられています。</p> <p>また、年々増加する訪日外国人観光客の誘客、対応も重要な課題となっています。</p> <p>このような本市の背景のもと、下記のような取り組みを通じて、西尾市民が市内の文化歴史に精通し、訪日外国人観光客や来訪者等に対して、「おもてなしの心」で接していくことができるように、人材の育成やその情報発信などを行っていくものです。</p> <p>また、平成26年度から本補助金により「西尾おもてなし大学」を実施しており、本補助金により継続して実施することで更に効果を高めることが期待できます。</p> <p>1. 「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティア養成事業（平成26年度～平成33年度） 2. 西尾の文化遺産普及啓発シンポジウム事業（平成29年度～平成33年度） 3. 市内文化財記録事業（平成27年度～平成33年度）</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、西尾市が事業の指導、助言、また、各種連携調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工観光課：本事業の進行等に関する指導等 ・文化振興課：本事業における文化財の取扱等に関する指導・助言等 ・佐久島振興課：本事業における佐久島との調整に関する指導・助言等 <p>また、事業の実施については、次の団体が実施</p> <p>西尾市文化遺産地域活性化実行委員会（会長 杉田 芳男） 構成団体：西尾市文化財保護委員会・西尾市観光協会・西尾市教育委員会文化振興課・西尾市商工観光課・にしお観光ボランティアガイドの会・吉良あないびとの会・西尾観光案内おもてなし隊</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 20,874 千円	平成29年度申請額： 12,402 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>1. 人材育成事業による効果</p> <p>(1) 「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティア養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「西尾おもてなし大学」で市民が自分たちのまちの歴史や文化、伝承を知ることにより、市民の地域の愛着や誇りが醸成され、西尾市の歴史や文化遺産に関する関心や意識が向上するとともに、市外の人に向けて文化遺産等をはじめとした情報発信が期待できる。 <p>2. 普及啓発事業による効果</p> <p>(1) 西尾の文化遺産普及啓発シンポジウム事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化・歴史資源の魅力やポテンシャルを市内外の住民に知ってもらうことで、祭礼行事を開催するための応援隊の発足及び会員数の増加が期待できる。 <p>3. 記録作成事業による効果</p> <p>(1) 市内文化財記録事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会等と連携し、他の文化財とともにデジタルアーカイブ化を行っていくことで文化財の普及につながる。 ・映像化することで、地域の文化財の理解度がより深まる。 ・作成した映像については、道の駅など集客効果の高い拠点において、放映するとともに、市内の小中学校に配布し、子どもの郷土学習の教材とするとともに、次世代を担う後継者づくりに期待ができる。また、「西尾おもてなし大学」の講座における教材の一環として活用する。 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>H26年度から実施しているおもてなし大学をはじめとした本事業の実施により、市民に対して本市の歴史資源を活用した観光まちづくりに対する意識が醸成されつつある。これらの取り組みを継続的に実施することで、更なる市民意識の高揚をはかりつつ、観光施策との連携も考慮し、平成30年ころの観光基本計画の見直しにあわせて、歴史文化基本構想の策定を目指す。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	西尾市 産業部 商工観光課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	名鉄西尾駅の乗降者数			関連事業:	1. 「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティア養成事業	
目標値 1 :	平成 26 年度 9,828 人/日 ⇒ 平成 33 年度 10,500 人/日					
設定根拠 1 :	西尾市まち・ひと・しごと総合戦略において、H26年度からH31年度の西尾駅乗降者数の目標が、5年間で500人増としているため、H33年度まで同様の伸び率とした。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	人/日	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	西尾のまつり応援隊の会員数			関連事業:	2. 西尾の文化遺産普及啓発シンポジウム事業 3. 市内文化財記録事業	
目標値 2 :	平成 28 年度 0 人 ⇒ 平成 33 年度 100 人					
設定根拠 2 :	H28年度実施した提灯まつりの体験ツアーの参加者が20人程度であった。今後も同様に、地域のまつりを体験・体感できる取組を進め、毎年40名程度の参加者を集め、半数が応援隊に登録してもらう設定とした。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	島民利用を除く市営渡船利用者数			関連事業:	1. 「西尾おもてなし大学」による文化遺産の紹介ボランティア養成事業	
目標値 3 :	平成 26 年度 79,200 人 ⇒ 平成 33 年度 108,500 人					
設定根拠 3 :	西尾市まち・ひと・しごと総合戦略において、H26年度からH31年度の島民を除く渡船利用者数の目標が、5年間で5800人増としており、その伸び率の4倍程度を設定した。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

